



公益社団法人 岡山県診療放射線技師会

# 岡放技ニュース

2022. 2 No. 300

〒700-0867 岡山市北区岡町 16-10-201

TEL 086-235-1313 FAX 086-235-1515

MAIL: oart@oart.jp

Okayama Association of Radiological Technologists Since November 21th, 1951 URL: <http://www.oart.jp>

発行責任者 大野 誠一郎 編集者 編集委員会

## 報告

### 第141回 岡放技セミナー開催報告

学術委員長 田淵 真弘  
(医療法人社団 同仁会 金光病院)

令和4年1月30日(日)第141回岡放技セミナー(webinar形式)において3名の講師を招聘し、肺がん部会研修会および胃がん大腸がん研究会を開催した。講演題目は次の通りである。『肺がんCT検査に必要なスキルとは?～読影の補助によるタスク・シフトを!～』滋賀医科大学附属病院 牛尾哲敏先生、『胃がん検診の現状と今後を見据えて』日本鋼管福山病院 石川祐三先生、『慢性胃炎と胃がん:慢性胃炎、早期胃がんの病理像』岡山大学病院病理診断科 都地友紘先生。

まず、肺がん部会研修会においては牛尾氏からX線CTの基礎から読影に至るまでご指導頂いた。講演終盤においては、タスクシフト、タスクシェアにより診療放射線技師による読影が要求されている現状について力説された。しかしながら、肺がんCT検診認定機構主宰の肺がんCT認定技師講習会においては、異常所見検出試験が経年的に低下している状況を危惧しており、タスクシフトとは逆行する試験結果に悩まされていた様子は印象的であった。このことについて私見を述べるならば、異常所見検出業務について診療放射線技師が社会的に評価を受け、幾分の報酬を得られない限り、業務継続の動機を維持することは困難と考える。また、質疑応答の場面においては、聴講者より『診療放射線技師の読影業務は人工知能により置き換わるのではないか』との懸念を示唆する質問があり、『現状、AIよりも人間の能力の方が優れており、すぐには置き換わらないであろうから、今、地固めをする必要があるのではないか』との見解を示した。この件に関して私見を述べるならば、人間の目と脳は最適解を自動的に求める機能を有しており、この機能を敢えて衰退化させる必要はないと考える。異常所見検出試験の結果に見られるように、活用しなければ機能が衰退化することは明らかである。タスクシフト/シェアにおいて診療放射線技師の読影結果を是非とも活用していただきたいものである。

続く、胃がん大腸がん研究会においては、石川氏、都地氏の両名から Helicobacter pylori (H.pylori) が感染した胃について画像所見の見方とこれを裏付ける病理所見についてご教示頂いた。現感染胃は粘膜ヒダの肥厚とたわみが顕れ、デコボコした辺縁を生じる。これに対して未感染胃の粘膜ヒダは細く、滑らかな辺縁を持つ。そして除菌により粘膜ヒダは未感染の状態に戻るか消失するようである。著者から両名へ粘膜ヒダ肥厚の機序について質問したが、感染胃の粘膜ヒダの肥厚は粘膜の浮腫によるものと考えられており、粘膜下層における浮腫の有無が関与しているかどうか不明であるとのことであった。今後、胃検診において粘膜ヒダの状態を観察すること



事務所開所時間：月・火・水・金 10:00～14:00 木 お休み

により H.pylori 菌感染の有無を推定することは重要な役割になるであろう。また、疫学的に、ヘリコバクターピロリの除菌により胃がんは確実に減少するが、除菌後に生じる胃がんは非常に判りにくいというパラドキシカルな問題が生じていることをご教示頂いた。除菌成功後に背景の炎症が消退し、早期胃癌が発見しやすくなると考えられていた除菌治療であるが、むしろ発見を困難にしているとのことである。これはバリウム X 線検査、内視鏡の双方において見られる問題であり除菌前に発生していた癌組織の上に覆い被さるように正常粘膜が再生されることに起因している。本件について私見を述べるならば、除菌後も除菌したからと安心せず、しばらくの間は定期的な検診の継続を促進することが望ましいと考えられる。Helicobacter 属には H.pylori の他に約 40 種の菌が同定されているが、H.pylori 以外のヒトに感染する Helicobacter 属菌を H.heilmannii like organism (HHLO) と総称している。この HHLO の中でヒトの胃に感染する少なくとも 4 種の菌が存在し、特に H.suis は H.pylori と同様に癌を誘発し、MALT リンパ腫の誘発リスクが高いことが知られている。今後も引き続き胃感染菌と疫学との関係を注視していく必要があるだろう。



滋賀医科大学附属病院 牛尾哲敏先生



日本鋼管福山病院 石川祐三先生



岡山大学病院 病理診断科 都地友紘先生



会場の様子



お知らせ

## 「変更届」提出のお願い

勤務先・自宅住所など変更をされた方は、岡放技事務局まで「変更届」に変更内容を記入してお送りください。

「変更届」用紙はホームページのメニュー「入会・変更など」にあります。

日本診療放射線技師会 JART にもご入会の方は、JART のホームページよりログイン後、ご自身で登録情報の変更ができます。【推奨】

(ログインできない方は、岡放技への申請により JART の変更支援を致します。)

岡放技独自の会員台帳にて会費管理やニュースの発送など様々な処理をしておりますので、是非とも、お忘れなくお知らせください。

よろしくお願い致します。

### 【送り先】

〒700-0867 岡山市北区岡町 16-10-201

岡山県診療放射線技師会 事務局

FAX : 086-235-1515

Mail : [oart@oart.jp](mailto:oart@oart.jp)

### 《追伸》

過去に引越しをされて、住所変更を出されていない方もおられるようです。

確認の為に送って頂くのも歓迎です。よろしくお願い致します。



お知らせ

## サーベイメータ貸出について

施設線量測定委員長 土本 真也

岡山県診療放射線技師会では、漏洩線量の測定のため、会員施設を中心にサーベイメータの貸出をおこなっています。

貸出を希望される方は申込書をファックスかEメールで岡山県診療放射線技師会までご連絡下さい。

貸出申込書は岡山県診療放射線技師会のホームページにあります。

サーベイメータの引き渡しは本会事務室にて行ないます。

貸出使用料の請求は本会が使用者あてに後日行います。

### サーベイメータ貸出規程

- 1 ALOKA 社製 電離箱式サーベイメータ 1台 (トランシーバー2台を含む)  
(サーベイメータは年1回の校正をおこなっています)
- 2 貸出料金 1週間 30,000 円(税抜) 1回の貸出は1週間を限度とする
- 3 会員以外への利用は規程の倍額とする
- 4 本会の活動に有益と思われる場合は代表理事の承認を得て利用料を免除することができる
- 5 使用に関して、故障・水漏れ・落下により修理が必要となった場合、修理費の一部として10,000円を支払い頂く

※その他、ご不明な点やご質問、ご要望などございましたら、お気軽にお問合せ下さい



## エックス線室の漏洩線量測定事業

岡山県診療放射線技師会では、線量測定委員が各施設にお伺いしてエックス線室漏洩線量測定する事業を行っています。漏洩線量測定をご希望の方は、岡山県診療放射線技師会までご連絡お願いいたします。測定日時について調整させていただきます。

### 測定の流れ

#### 1. 測定図面の作成

初回測定時に今までの線量測定結果とX線撮影室の平面図を担当者にお渡し下さい。  
(2回目以降は必要ありません) 戴いた図面を元に漏洩線量測定図面を作成します。

#### 2. 漏洩線量の測定

測定員2名以上を派遣し、漏洩線量測定を実施します

( X 線装置の操作は病院様側でお願いします。

これをもって病院様の立会者とさせていただきます )

サーベイメータ、ファントム、トランシーバー等、必要な備品は当方で準備いたします。

#### 3. 測定結果報告書の作成

後日、漏洩線量測定結果報告書をお届けします。法定規制値以下と認められた施設には撮影室入り口ドアに貼る、測定済証のステッカーもお送りします。

### 測定時間

1室約30分

### 測定料金

基本料金 20,000 円 + 1 装置・1 管球追加毎に 10,000 円 を加算させていただきます。

測定をご希望の施設がありましたら、岡山県診療放射線技師会まで、お気軽にご相談下さい。

### お申し込み先

〒700-0867 岡山県岡山市北区岡町 16-10-201

(公社) 岡山県診療放射線技師会 施設線量測定委員会 宛

Tel 086-235-1313

## 令和3年度 (公社)岡山県診療放射線技師会 行事(活動)予定

令和4年

2月	2月26, 27日	土、日	告示研修 (実技研修)	中止	倉敷成人病センター
3月					
4月					
5月					
6月					
7月					
8月					
9月					
10月					
11月					
12月					
1月					

※ 日本診療放射線技師会(JART)主催